

2021年2月10日 第362号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

憲法共同センター 9の日宣伝

女性差別発言の森会長は辞任せよ！

軍事費よりコロナ対策！いのち・くらし・営業守れ！

憲法共同センターは2月9日昼、新宿駅西口で「9の日」宣伝を行い、8団体22人が参加しました。東京オリンピック・パラリンピック組織委員会の森喜朗会長の女性差別発言が大問題になり、怒りが広がっています。スポンサー企業からも問題視する発言がなされ、辞職を求める声、ネット署名が多数寄せられているのに、菅首相と自民党は森会長を擁護し辞めさせようとしません。事の大きさを認識していない、ジェンダー平等が欠如していると言わざるを得ません。日本の対応が問われています。「森会長は辞任せよ」と声をあげていきましょう。

はじめに、日本共産党参議院議員の山添拓さんが訴えました。「菅政権は、GoToには1兆円の予算を計上し、入院を拒否したら罰則で脅す、国会議員が銀座のクラブ通いをしているのに営業自粛に従わないと罰則を科すなどチグハグでおかしい。医療への支援、PCR検査を戦略的に拡大することや自粛には十分な補償をすることが求められている」と批判しました。



憲法会議事務局長の高橋信一さんは、森会長発言について「森氏の男尊女卑思想を表すとともに、民主主義の根幹にかかわる暴言」と指摘。「世界各地で批判の声があがっている。ジェンダー平等後進国を抜け出すためにも声をあげよう」と呼びかけました。

全労連女性部事務局長の寺園通江さん(看護師・日本医労連出身)は、「県外への移動はもつての外」「美容室には4月以来行っていない」「病院の収入が減ったから冬の一時金が下げられた」など医療労働者の実態を紹介し、「医療労働者は日々がんばっているが、正義感だけではがんばれない。予算と人が必要だ」と強調しました。

日本原水協事務局長の安井正和さんは、「核兵器禁止条約が1月22日に発効した。憲法9条を持つ日本が署名・批准することが北東アジアの平和に貢献することになるが、政府は核の傘に固執している。核兵器なくせの運動を広げよう」と呼びかけました。

日本民主青年同盟の青山昴平(こうへい)さんは、「食事はシリアルやパン1個。水を飲んで空腹

を紛らしている」「バイト先がつぶれて、次が見つからない。経済的支援を広げてほしい」など青年の声を紹介し、「軍事費に使う税金は、コロナ対策や若者支援に使うべき」と訴えました。

* 当面の行動

● 2月19日(金) 総がかり行動「19日行動」

18時～ 国会議員会館前

→ <http://www.kyodo-center.jp/?p=8214>

2・19 国会議員会館前行動



● 2月23日(火・祝) 憲法共同センター全国交流集会・オンライン 13時～

→ <http://www.kyodo-center.jp/?p=8199>

憲法共同センター
全国交流集会

憲法9条は、広容の規制、公務員・教育者に対する運動規制など問題が多い。国民投票法(改正)案を「議論は尽くされた」と議院で成立を認め、自民党が憲法改正への道を歩み出しています。国会では、国民投票法案の議論を学習し、改憲阻絶阻止の全国各地の取り組みを交流します。来たる衆議院で改憲を阻絶に追い込み、野党連合政権をつくるためのたたかひの決戦の場としましょう。多くの方のオンラインでの参加を呼びかけます。

●日時 2月23日(火・祝) 13時～15時
●場所 全労連3階会議室
●形態 オンライン(zoomミーティング)
*聴衆を希望される方は、組織名、氏名、メールアドレスを move@enren.gr.jp にお知らせください。
*参加申し込みは、2月18日までにお願いたします。
*2月19日頃までに、ミーティングID、パスワード、資料を送ります。
*当日は、開始30分前から接続を可能とします。

●内容 講演・質疑、問題提起、活動交流

講演 菅改憲と国民投票法改憲(仮)
大江 京子 弁護士
改憲問題対策法律家団体連絡会
事務局長

憲法共同センター 連絡先: 文京区清鳥2-4-4 全労連会館4階
Tel.03-5842-5611